

最短で医学部へ

私、絶対
医師になる。

医系専門予備校 合格者数
“4年連続” **No.1** ※1
2018年度 **903名** ※2
うち国立大 **113名** ※2
(平成30年4月24日現在)

2019年度生 入校受付中!

合格への近道は“メディカルラボの個別”

個別カリキュラム



個人の学力や勉強法を正確に診断したうえで志望校に合わせて作成された個別カリキュラムにより、効率よく苦手科目を克服し、得意科目をさらに伸ばすことで「確実に志望校に合格する力」を身につけます。

プロ講師による
完全1対1授業



医学部合格のポイントを知り尽くした経験豊かなプロ講師による1対1の授業で、一人ひとりの目標や個性、習熟度を見極めながら確実に志望校合格へ導きます。

医学部受験のプロによる
戦略的対策



医学部受験に関する圧倒的な情報量をもとに戦略的なプランを構築。試験を間近に控えた直前期には、徹底した過去問題の分析と対策で、合格点を取るための力を強化します。

まずはお気軽に資料請求から。個別学校説明会・個別学習相談も随時受付中! (要事前予約)
2月・3月は入校相談・個別学習相談が集中いたします。ご希望の方はお早めのご連絡をお勧めいたします。

資料請求をいただいた方には、可児良友著
「あなたの医学部合格をかなえる成功の9ステップ」をプレゼント!!
※大阪医科大学 仁泉会ニュースを見たとお伝えください。



動画でわかるメディカルラボ!

~カリキュラム・1対1授業の魅力・学校案内~

こちらを
読取下さい

※Wi-Fiの環境化で見られることをお勧めいたします。



お問い合わせは、お近くの校舎へ
お気軽にご連絡ください。

メディカルラボ



【京都校】
〒604-8134 京都市中京区六角通烏丸
東入堂ノ前町245
0120-456-838 TEL.075-255-3101



【大阪梅田校】
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪北館タワー-B13F
0120-456-323 TEL.06-6371-7111



【大阪なんば校】
〒556-0011 大阪市浪速区難波中
2-10-70 なんばパークスタワー30F
0120-456-839 TEL.06-6645-4111



【あべのハルカス校】 ※2019年2月15日開校
〒545-6028
大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス28F
0120-456-426 TEL.06-6626-3010



【神戸校】
〒651-0086 神戸市中央区磯上通7-1-8
三宮プラザWEST 3F
0120-456-843 TEL.078-291-6361

大阪医科大学 仁泉会ニュース

仁泉会ニュース 第50巻第2号
発行所
〒569-8686 高槻市大学町 2-7
電話 072-682-6166 FAX 072-682-6636
発行者 発行部数
河野 公一 6,100部
URL
http://www.jinsenkai.net

2019年定期総会・評議員会 開催のご案内

2019年の定期評議員会及び総会は下記日程にて開催致します。
ご参加の程よろしくご願ひ申し上げます。
詳細のご案内は5月発行の仁泉会ニュースにてお知らせを致します。

日時：2019年5月26日(日)

場所：ホテルグランヴィア大阪20階

定期評議員会 午後2時30分から
定期総会 午後3時から
懇親会 午後5時から



NEW RANGE ROVER EVOQUE

個性を解き放つ瞬間



ABOVE & BEYOND

2019初夏 DEBUT

7年ぶり待望のフルモデルチェンジ

ご予約受付中

NEW RANGE ROVER
EVOQUE

¥4,610,000 ~

NEW RANGE ROVER
EVOQUE S

¥5,280,000 ~

NEW RANGE ROVER
EVOQUE SE

¥6,050,000 ~

NEW RANGE ROVER
EVOQUE R-DYNAMIC S

¥6,020,000 ~

NEW RANGE ROVER
EVOQUE R-DYNAMIC SE

¥6,790,000 ~

NEW RANGE ROVER
EVOQUE R-DYNAMIC HSE

¥7,470,000 ~

NEW RANGE ROVER
EVOQUE FIRST EDITION

¥7,990,000 ~

仁泉会ニュースをご覧の方限定の特典

NEW RANGE ROVER EVOQUE をご購入されたお客様には…
ドライブレコーダー OR ボディコーティング を
プレゼント

特別予約商談会 3月16日(土)~24日(日)

皆様のご来場をスタッフ一同、心よりお待ちしております。

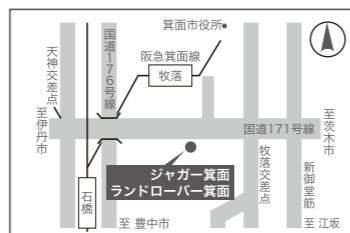


Please Contact Us JAGUAR / LAND ROVER



ジャガー箕面
ランドローバー箕面

〒562-0043 箕面市桜井3-13-7
TEL 072-721-8883
定休日 水曜日
営業時間 10:00-19:00



www.hakko-group.co.jp
f HAKKO CAR GROUP
@hakkocargroup

告示

2019年5月26日(日)開催の定期総会において任期満了に伴う役員選挙を行います。役員候補者になろうとする者、または役員候補者を推薦しようとする者は、4月27日(土)までに文書をもって、仁泉会事務局までお届け下さい。

用紙につきましては、仁泉会ホームページの申請書ダウンロードから入手頂くか事務局までお申し出下さい。

平成 31 年 3 月 1 日
大阪医科大学仁泉会
理事長 河野 公一

仁泉会事務局

TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636

e-mail / jimmu@jinsenkai.net URL / http://www.jinsenkai.net

目次

P2	告示	
	支部日より	
P4	平成 30 年度仁泉会三重県支部総会	子日光雄 (学 25 期)
P5	京都仁泉会秋の講演会報告	森本博子 (学 24 期)
P6	学部 28 期 (昭和 54 年卒) 同窓会「双葉会」 開催の最終案内	
P7	平成 30 年度仁泉会大阪府連学術講演会の報告	村木宏要 (学 27 期)
P9	「あかつき会」(学 24 期クラス会) 総会の開催のおしらせ。	
P10	平成 31 年度仁泉会神戸支部新年会報告	藤田能久 (学 47 期)
P11	第 23 期生 (昭和 49 年卒) 同窓会開催のお知らせ クラス会日より	
P12	八起会 (学部八期 昭和 34 年卒) 開催報告	栢岡 進 (学 8 期)
P13	平成 30 年度 有志珊瑚会 (昭和 35 年卒) のご報告	大隈義彦 (学 9 期世話人)
P14	学 52 期同窓会報告 —平成の真ん中に卒業して、平成最後に開催した同窓会— 仁泉ひろば	宮村昌利 (学 52 期)
P15	OLDIES の CD 製作 事業報告	岡田勝彦 (学 17 期)
P16	学生生活虎の巻 その六 若手の先生と学生の交流の場が設けられました	
P19	東雲 出張版	黒川四郎 (医学部 2 回生・文芸部)
P20	書籍紹介 勝間田敬弘先生	
P21	新聞切抜 茂松茂人先生 (学 27 期)	
P22	冊子切抜 永井 章先生 (学 38 期)	
P24	新聞切抜 熊野宏二先生 (学 39 期)	
P25	新聞切抜 北 和也先生 (学 55 期)	
P26	エッセイ「歴史を彩った女性達 (16)」	西村 保 (学 4 期)
P27	まんが 本部日より	フルーツポン太 (学 31 期)
P28	会員計報	
P30	編集後記	

支部だより●●●●

平成 30 年度仁泉会三重県支部総会

文責／子日光雄（学 25 期）

平成 30 年 11 月 11 日（日）、三重県津市の料亭「生月」にて、平成 30 年度の仁泉会三重県支部総会が行われました。お忙しい中、本部より河野公一理事長、当日講演をいただいた本学内科学Ⅲ総合診療科専門教授、浮村 聡先生に参加いただきました。

総会に先立ち、平成 29 年 1 月 27 日に逝去されました、富澤 康先生に黙祷を捧げました。

来賓の河野理事長には、大阪医大の近況をお話しいただきました。大阪医大と大阪薬科大学合併の件、東京医科大学の不正入学のようなことは当校ではありえない事等。引き続き、浮村教授から「耐性菌時代の抗菌薬使用と抗インフルエンザ薬の適正使用」と題して、1) AMR 対策：抗菌薬適正使用について、2) 感染症ガイド、3) インフルエンザ総論、4) 新薬の紹

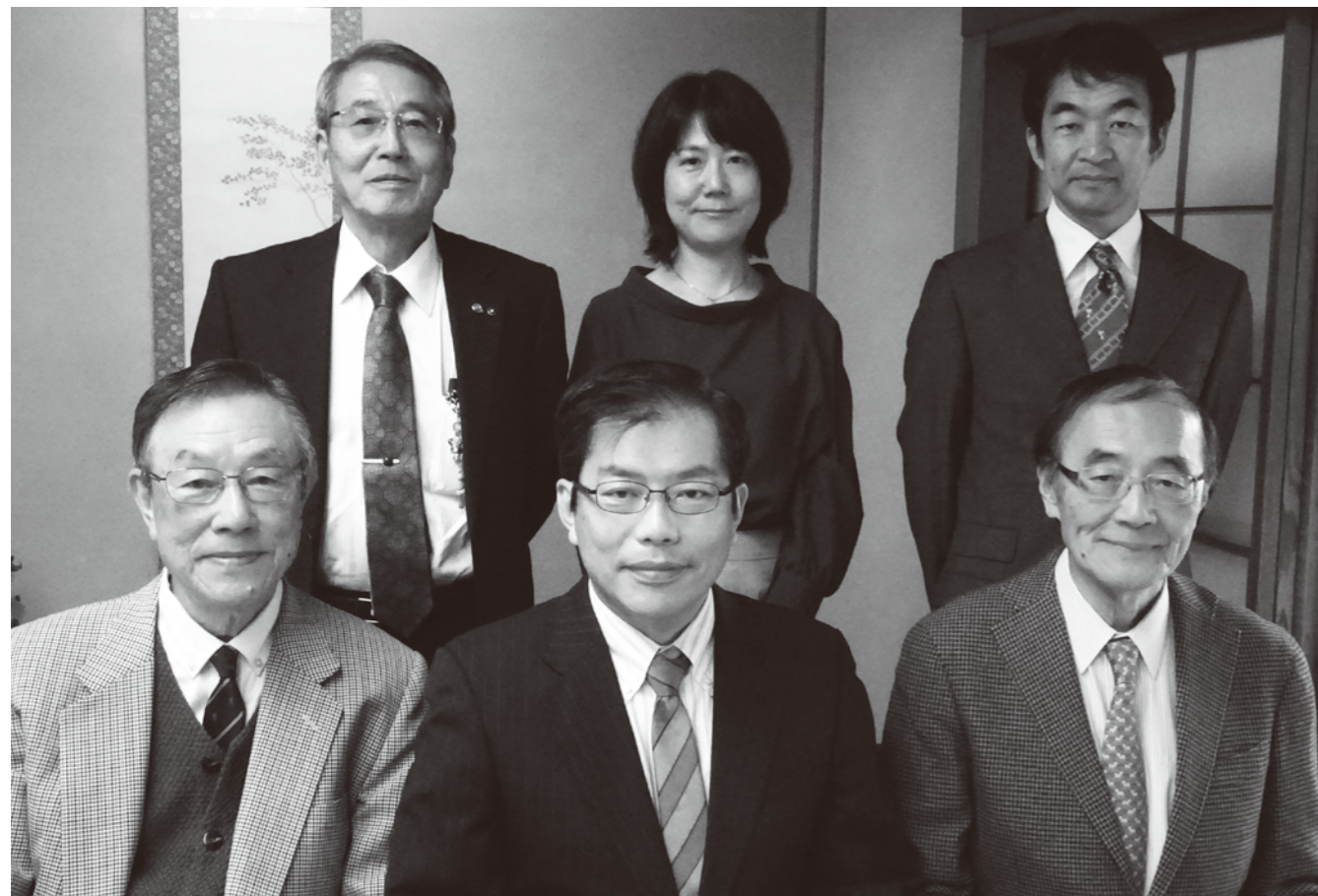
介と抗インフルエンザ薬の選択について、ご講演いただきました。日々の診療にすぐに役立つご講演で、ありがたく拝聴しました。

記念撮影のあと、懇親会に移り、河野先生から本学の楽しい裏話を、浮村先生からは多くのグループの世話人をされておりその苦労話を伺い、とても参考になりました。次回は三重県が新三水会（愛知県・岐阜県・三重県 3 県の合同総会）の主催であり、様々工夫を凝らして多くの会員の参加を募ることを確認しました。美酒に酔い、談論風発、楽しい時間はあっという間に過ぎ総会を終了しました。

新三水会が、2019 年 5 月 19 日に三重県主催で行います。愛知県、岐阜県、三重県の会員の先生方今からご予約しておいてください。

新三水会ご案内

第 3 回新三水会
（愛知県・岐阜県・三重県 3 県合同）の日程
2019 年 5 月 19 日（日） 午前 11 時～
三重県桑名市太一丸 22-4
レストラン Rocca（六華苑内）
多数の会員の先生方のご参加をお待ちしています。



支部だより●●●●

京都仁泉会秋の講演会報告

文責／森本博子（学 24 期）

11 月 17 日、京都仁泉会秋の講演会が京都ホテルオークラで開催されました。今回は母校内科学第 4 講座教授 荒若繁樹教授にお願いして、「病期から見たパーキンソン病の治療法」という演題でご講演を賜りました。

岩野正宏先生の司会でまず松本恒司会長の挨拶から始まりました。座長は今年度から京都仁泉会に入会された北岡治子先生に務めていただきました。講演の要旨につきましては荒若先生ご自身がまとめてくださいましたので、そのまま掲載させていただきます。

「病期から見たパーキンソン病の診療」 大阪医科大学内科学 IV 教室脳神経内科 荒若繁樹

パーキンソン病は、神経変性疾患の中ではアルツハイマー病に次いで多い疾患である。日常診療で遭遇する機会は少なく、適切な診断と病期に合わせた治療法が求められる。

パーキンソン病は 4 大運動症状（安静時振戦、寡動、固縮、姿勢反射障害）を呈するが、パーキンソン病を疑う症状として、安静時振戦が重要である。典型的には 4 から 6Hz の周期で薬を丸めるような震えが観察される。臨床的診断には、レボドパ投与による運動症状の改善（レボドパ反応性）を観察することが重要である。客観的検査として、多系統萎縮症や進行性核上性麻痺といった類縁疾患の鑑別に頭部 MRI 撮影が役に立つ。また、スルピリド（ドパミン D2 受容体遮断効果を有する）等の内服による薬剤性パーキンソン症候群、本態性振戦との鑑別には DAT スキャンが有効である。

パーキンソン病の治療として、発症早期の Yahr 分類 I・II 度では、レボドパの投与が考慮される。臨床研究において、レボドパの投与がジスキネジアなどの運動合併症の出現を早める可能性は少なく、レボドパ総量及び罹病期間の長さが関係することが示されている。65 歳以下では、ドパミンアゴニストや MAO-B 阻害薬の投与から開始することも考慮される。アゴニストは十分量使用して効果の発現を確認することが望ましい。進行期では、レボドパの消化管吸収及び規則的な服薬を確認することが重要である。また、胃瘻を介したレボドパ経腸剤の投与が登場し進行期治療として期待されている。診断、治療に迷われるケースがあれば、神



経内科を活用いただければ幸甚である。

パーキンソン病の診断、経過、治療の進歩について、非常にわかりやすくご講演いただきました。フロアから質問があいつぎ、有意義な講演会となりました。

講演会のあと、会場を移し、懇親の場がもたれました。内田 実先生の乾杯の発声で宴は始まりました。今回初めて参加の先生もあって 25 名の先生が出席してくださいました。途中、各先生方のスピーチもあり、会話がはずんでいました。森本より次回の案内があり、中締め挨拶といたしました。

今後の予定：2019. 2. 9 (土) 春の講演会
2019. 5. 11 (土) 総会
2019. 8. 25 (日) 音楽の夕べ

参加者：内田 実 (学 12 期) 勘田 紘一 (学 15 期)
今村 喜久子 (学 17 期) 竹内 宏一 (学 18 期)
奥村 正治・尾崎 信之 (学 20 期)
森本 英夫・富岡 曄・大藪 博・舟木 亮 (学 22 期)
田代 博 (学 23 期) 森本 博子 (学 24 期)
浅田 修二・浅野 明美・多田 秀樹 (学 25 期)
松本 恒司 (学 26 期)
蘆田 ひろみ・北岡 治子・萩原 暢子 (学 28 期)
岩野 正宏・河野 龍而 (学 35 期)
柏木 元実 (学 39 期) 大谷 良・岡本文雄 (学 40 期)
池田 文彦 (学 52 期)



学部 28 期 (昭和 54 年卒) 同窓会 「双葉会」開催の最終案内

昭和 54 年卒：双葉会の先生方お元気ですか。

同級の脳外科の黒岩教授、小児科の玉井教授、精神科の米田教授の定年退官を記念して同窓会を開催いたします。皆様お誘いあわせの上、どうぞご参集頂きますようお願い致します。

記

日時：2019 年 5 月 25 日 (土) 午後 5 時より

会場：あべのハルカス 大阪 Marriott 都ホテル (JR 天王寺駅前) 20 階宴会場

一次会の後、ハルカス展望台に登り大阪の夜景を楽しむ予定です。

参加予約ご希望の方は田口 (Tel 06-6796-3737、Fax 06-6796-3736) までお問い合わせください。詳細をご連絡いたします。

幹事：田口忠宏、霜野良一、齊藤 治

支部だより ●●●●

平成 30 年度仁泉会大阪府連 学術講演会の報告

文責／村木宏要 (学 27 期)

平成 30 年 11 月 10 日、ホテルグランヴィア大阪 20 階「名庭の間」において平成 30 年度の仁泉会大阪府連学術講演会が開催されました。30 名の参加があり、興和創薬からの情報提供が行われた後、中 透先生 (学 25 期) の司会で始まりました。

最初に、昨年 5 月就任の霜野良一大阪府連新会長 (学 28 期) が挨拶されました。大阪府連は 50 の支部がありますが支部長がいない支部やおられても活動されていない支部もあり、今後、府連の活動を多くの先生に知っていただける様に努力したいと話されました。

今回、お二人の来賓の先生に出席していただきました。まず、大阪医科大学仁泉会理事長 河野公一先生 (学 21 期) が挨拶され、現在、県・地方単位の合同支部会を推進すべく地方を廻られ仁泉会の活性化を目指されていることを報告されました。続いて、大阪医科大学 学長 大槻勝紀先生 (学 27 期) が挨拶され、昨年度医師国試合格率が 92.2% と全国 10 位と良好であったことを報告され、東京医大問題にも軽く触れられました。

学術講演会：「一般内科診療と I 型糖尿病」

森川浩志先生 (学 36 期) が座長で、今回、大阪医科大学内科学 I 教授 今川彰久先生を講師にお招きし、ご講演を賜りました。以下その講演内容をスペースの許される限り紹介致します。

最初に、1 型糖尿病とは少し関係のないと言いますか、糖尿病一般の話をさせていただきます。日本における糖尿病患者数は現在微増ではありますが、糖尿病予備軍は減少傾向であり、今後の新規発症は減ってくると思われま。ただ、減ってくると言っても糖尿病の合併症はまだまだ多

いというのが現実で網膜症、糖尿病の網膜症では年間 3,000 人の方が失明、腎症、腎臓の障害では年間 16,000 人の方が透析導入されています。さらに神経障害、あるいは動脈硬化症、心筋梗塞、脳梗塞、足壊疽といった合併症も多くその対策を考えていかなければなりません。一方、最近高齢化社会と言われるようになり、糖尿病と関係のある疾患は先ほどの病気だけではなく、いろんな研究で認知症、骨折、鬱、アクティビティの低下も糖尿病が関係し、糖尿病を予防することや糖尿病をしっかりと管理することが認知症や骨折や鬱を防ぐことに繋がると言われています。

☆ 2 型糖尿病の治療

1 型糖尿病の話の前に、糖尿病の 95% を占める 2 型糖尿病の治療を行なう上で、重要なことは、次のようなこととなります。

治療はできるだけ早くから始める。血糖 (HbA1c) を下げなきゃいけないが、下がりすぎも良くない。血糖だけではなく体重、血圧、血清脂質を含めた包括的な管理が必要ではないか、これは動脈硬化の予防のために必要です。あと、ひとつ年齢や罹病期間ですとか動脈硬化の進展度によって目標値を変えること。こういったものが 2 型糖尿病の治療の最近の流れというふうに考えられております。

1) 血糖はどれくらいにするのがいいのか？一番よく言われているのは糖尿病のいろんな合併症を防ぐためには HbA1c の値を 7% 未満にコントロールしましょう。しかし、治療目標は年齢や罹病期間、臓器障害、低血糖の危険度、サポート体制などを考慮して個別に設定するべ



今川彰久教授

きです。すなわち何でもかんでも 7% 未満と言うのではなく、それよりも少し高くてやむを得ない患者さん、それからもう少し厳密に管理した方がいい患者さんなどいろんな患者さんがおられ、それは個々に判断しなければならない。その中で具体的な指標がひとつ出されました。それが高齢者糖尿病の血糖コントロール目標です。これは先ほどの 6%、7% という数字に加えて、高齢者の認知機能とか ADL が自立しているかどうか、さらに使っている薬の種類によってカテゴリーを分けて目標を設定しようということが提唱されております。すなわち認知機能が正常で ADL が自立していて低血糖が起こる可能性の少ない薬剤を用いられている患者さんでは、さきほどお示ししました 7% という値が管理目標になるわけですが、例えば中等度の認知症があって、基本的な ADL が少し低下していて、あるいは何かの合併疾患がある、しかも低血糖を起こす可能性がある薬で管理している方は HbA1c は 8.5% でいいでしょう。このような個別の設定が重要だと昨今言われております。

2) 高齢者糖尿病の管理目標でもうひとつ重要なことは下限値を設けたということであり、下限値というのはもうこれ以上血糖は下げなくてよしい、というような目標値です。今まではとにかく下がってれば良いというのが大方の考え方だったんですけども、最近では下がっているということは、更に下がりすぎて低血糖になっている可能性も考えられたりということでありまして、これ以上下がって 7.5% に下がっている患者さん、低血糖を起こす可能性がある薬を飲んでいて、ADL が少し低下しているような患者さんで HbA1c が 7.5% を切っているような患者さんは、どこかで糖尿病以外の障害が出る可能性があるのです、コントロールはもう少し緩くしましょうというような考え方に移行しつつあるということです。

3) 最後に、今まで述べたことの維持、管理に関して最も重要なことのひとつは糖尿病の治療を継続するということです。糖尿病の治療はずっと続ける方というのは、なかなか半分程度であるということも明らかになっており、これ



大槻勝紀学長



河野公一理事長

は今後解決すべき問題であると思われま

4) かかりつけ医と糖尿病専門医との連携も大切であります。3 か月以上糖コントロールがうまくいかない場合、使用経験がない新しい薬剤を開始してみたい場合、DKA や高血糖高浸透圧症候群などにより緊急の対応が必要な場合、合併症が進展して困っている場合、インスリンを導入したい場合、チームにての患者教育が必要な場合、合併症が進展して困っている場合、その他、DKA や高血糖高浸透圧症候群などにより緊急の対応が必要な場合、手術のための血糖管理が必要な場合には気兼ねなく糖尿病専門医に相談していただきたい。

☆ I 型糖尿病

これから少し I 型糖尿病という私が専門にしている病気についてお話させていただきます。

1) 緩徐進行 I 型糖尿病：SPIDDM)
2 型糖尿病と診断された患者の中にもかくれ I 型糖尿病（緩徐進行 I 型糖尿病：SPIDDM）が 10% 程度含まれていると考えられています。

SPIDDM の特徴は抗 GAD 抗体陽性です。早期から少量のインスリンを使用することで、インスリン依存状態への以降を阻止することが可能であるため、早期診断が重要です。SPIDDM を見逃さないためには I 型糖尿病の存在を念頭に置いて診察すること、非肥満・家族歴がない・インスリン分能が低下している糖尿病患者では抗 GAD 抗体を測定することが重要です。

2) 激症 I 型糖尿病

救急対応が必要になる糖尿病です。急激な血糖上昇が起こるが、発症時は HbA1c と血糖との間に乖離があり、抗 GAD 抗体が陰性であることが多い。成人してから発症する患者が多く、全国で 5000 人～ 7000 人ほどと推定している。初期には感冒用症状・腹部症状を訴えることが多いので、血液検査の際にはルーチンで血糖を測定していただき、激症 I 型糖尿病を見逃さないようにしていただきたい。

3) PD-1 モノクローナル抗体ニボルマブ（オプジーボ）の副作用でも I 型糖尿病（激症 I 型糖尿病）が起こることがあります。ニボルマブ投与中は血糖を測定すること、異常時には糖尿病専門医へ相談すること、I 型糖尿病と診断されたら直ちにインスリンを開始することが重要です。

その他、I 型糖尿病の治療としては、強化インスリン療法、CSII（インスリンポンプ療法）に加えて、SAP 療法（パーソナル CGM 搭載インスリンポンプ療法）も行われるようになって

てきました。また我々は、激症 I 型糖尿病の皮膚線維芽細胞から作成した iPS 細胞由来のインスリン陰性細胞の研究も行っています。

閉会の挨拶は大西洋一郎副会長（学 25 期）がされましたが、講演会参加者が少ないことに関し、来年は本日参加された会員の皆様がそれぞれ 1 人他の会員を連れてきていただければこの会場が埋まるのですがと、お願いとも聞こえる挨拶で閉められました。

講演会後の懇親会は「鶴寿の間」で、講師の先生にもご参加いただきました。大植 睦先生（学 40 期）の司会、塘 二郎先生（学 6 期）による乾杯のご発声で始まり、講師の先生には講演に係る、詳しいお話をしていただき、和気藹々とした雰囲気の中で時が経ちました。最後に、御前 治副会長（学 33 期）の閉会の辞で懇親会はお開きとなりました。



霜野良一会長

「あかつき会」(学 24 期クラス会) 総会の開催のお知らせ。

日時：2019 年（平成 31 年）9 月 21 日（土）・22 日（日）

会場：ホテルニュー淡路「ヴィラ楽園」

住所：兵庫県洲本市小路谷 20 番地

電話：0799-23-2200

開宴：午後 7 時予定

世話係：北 眞行

支部だより●●●●

平成 31 年度 仁泉会神戸支部 新年会報告

文責／藤田能久（学 47 期）

平成 31 年 1 月 19 日（土）、仁泉会神戸支部新年会が開催されましたので、ご報告いたします。

昨年に引き続き、『KOBE CLUB』を会場とし、総勢 35 名の先生方が出席されました。

初めに会長 増井裕嗣先生（学 29 期）より開会の挨拶がありました。会長挨拶に於いて、本年度の新年会も、新たにご参加頂いた先生がおられました。今後、さらに多くの先生方にご参加いただき、神戸支部をますます盛り上げていきたいとの抱負がございました。

次に大学、仁泉会本部の報告を兼ねて、安藤嗣彦先生（学 20 期）にご挨拶を頂きました。1）昨今、新聞各紙報道で話題の大学入試に関する報告 2）創立 100 周年に向け、新病院棟（タワー）建設 3）関西 BNCT 共同医療センターの稼働が昨年 6 月より始まった事など、100 周年に向けて、さらなる発展を目指していくとの話題提供がございました。

ここで、渡邊 聡先生（高医 19 期）のご発声の下、出席者一同での乾杯となりました。

待ちに待った乾杯の後は、例年、大好評となっている、『KOBE CLUB』ならではの、華やかで、大変おいしいコース料理を頂きながら、ワイングラスを手に、各テーブル歓談の花をさかせていました。

宴も中盤に差し掛かり、酔いもまわってきたところで、恒例のスピーチ大会となりました。神戸支部の会合に初参加頂いた、李 喬遠先生（学 33 期）、錦織英知先生（学 53 期）より、今後も積極的に会に参加したいとの嬉しいご挨拶を頂きました。

また、兵庫県女性医師の会 次期会長に就任される相馬葉子先生（学 38 期）より今後の抱負を頂きました。

また、日下孝明先生（学 16 期）からは、平成最後となった昨年秋の園遊会へ参加されたとの、大変貴重な報告がございました。

会も終盤にかかり、神戸支部では重要儀式となる、学歌斉唱に移りました。こちらは、安藤先生の発起により、大学グリー部の協力のもと、2016 年、新たに録音された学歌の CD 演奏を伴奏に参加者皆での斉唱となりました。

米田 豊先生（学 30 期）の締めのご挨拶後、皆で記念撮影を終え、平成 31 年度 新年会も閉

会となりました。

最後は当然のごとく、安藤先生のご厚意により、三宮のいつもの場所に繰り出し、大盛況のうちに神戸支部でのルーチンが終了しました。

なお、H31 年度総会ですが、平成 31 年 7 月 6 日（土）神戸ポートピアホテルでの開催予定となっております。会員の先生方、新規に参加を迷っておられる先生方など、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



参加者（敬称略）

渡邊 聡（高 19 期） 福永 晶（学 14 期）
谷尻 仁（学 15 期） 佐々木義信（学 16 期）
日下孝明（学 16 期） 北村純司（学 19 期）
横山光昭（学 19 期） 安藤嗣彦（学 20 期）
岩越一彦（学 22 期） 森 義孝（学 22 期）
石原一秀（学 23 期） 寺師克洋（学 23 期）
飯塚信行（学 24 期） 森本義康（学 24 期）
岡 博行（学 25 期） 植坂俊郎（学 27 期）
木村純平（学 27 期） 橋本 寛（学 27 期）
増井裕嗣（学 29 期） 中林まゆみ（学 29 期）
郡山俊昭（学 30 期） 米田 豊（学 30 期）
高井 豊（学 30 期） 田村 功（学 31 期）
井尻慎一郎（学 31 期） 波多腰正隆（学 32 期）
水谷 肇（学 32 期） 越智 豊（学 32 期）
島 正彦（学 33 期） 李 喬遠（学 33 期）
相馬葉子（学 38 期） 中本博士（学 39 期）
池原伸直（学 46 期） 藤田能久（学 47 期）
錦織英知（学 53 期）



第 23 期生（昭和 49 年卒）同窓会開催のお知らせ

2019 年は卒後 45 年となります。今回は北野博一先生が高知から参加されます。以下の要領で開催いたしますので、ご参集頂きますようお願い申し上げます。

記

開催期日：2019 年 11 月 9 日（土）18:00～

ホテル：インターコンチネンタル大阪（大阪駅北グランフロント内）

世話人代表（仮）竹中 洋、梶野興三、近藤敬一郎

クラス会だより

八起会（学部八期 昭和 34 年卒） 開催報告

文責／柘岡 進（学 8 期）

昭和 34 年（1959 年）卒のクラス会である「八起会」総会が平成 30 年 11 月 10 日に開催されました。

八起会の現状に触れますと、卒業者は留年者を含めて 64 名ですが、物故者：26 名、消息不明者：1 名、生存会員数：37 名です。

年々参加者が減ることは平均寿命をはるかに過ぎた私達の集まりであるので、致し方ありません。不参加者の多くはご自分の病気のためですが、数人は奥様の看護乃至介護が不参加理由の一つであることも老老介護の現れで、止むを得ないことでしょう。

八起会総会は、毎年 11 月の第二土曜日に開催することに決められており、開催地は 4～5 年に一回は母校見学を含めて高槻市で、その他の年は大阪南、大阪北、神戸、京都、奈良、金澤、滋賀等に住んでいる会員が当番幹事となり、ほぼ順番に開催しています。

今回は神戸在住の宮本 一夫妻と茂山虎雄君が幹事として、これに加えて柘岡 進が幹事

補佐となって、宮本夫妻ご愛用のお店で、70 年以上もの歴史を持つ「ステーキ みその神戸」が会場となりました。

総会は宮本 一幹事の司会で始まり、茂山虎雄幹事の挨拶後、本年 1 月 29 日に逝去された有坂 卓君のご冥福を祈るために黙祷を捧げたのち集合写真を撮影しました。

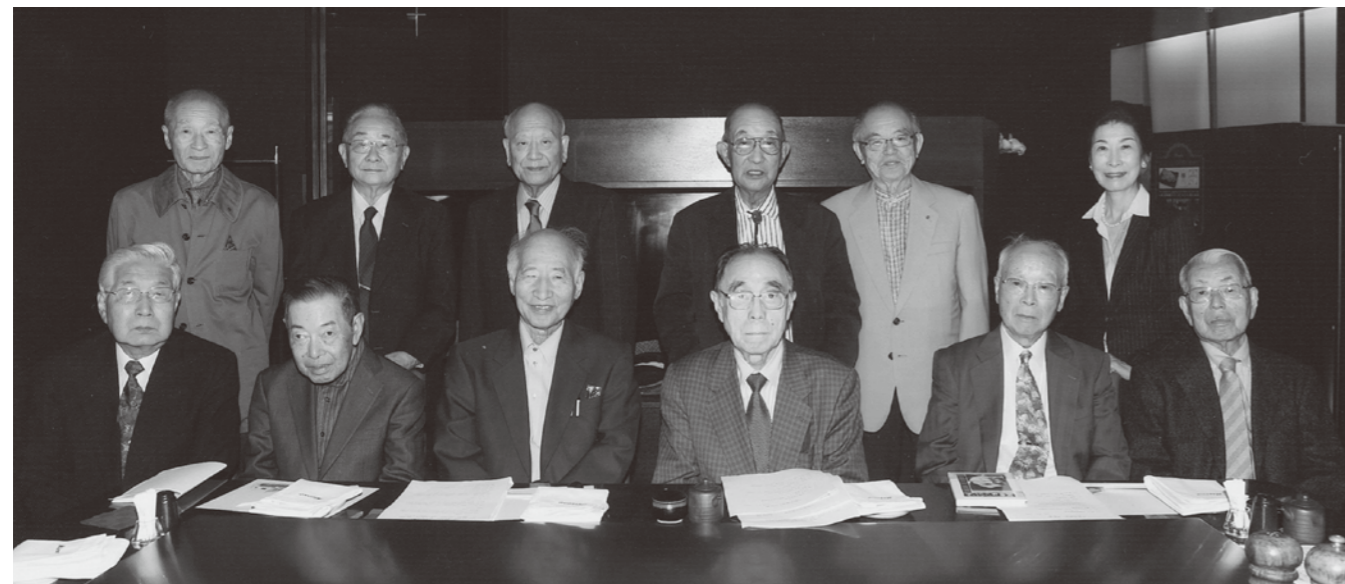
次いで、次期開催地の検討が行われ、金澤在住の藤田邦彦君が幹事を引き受けてくれましたので、次年度の八起会は 11 月 9 日（土）に金澤市で開催されることに決定しました。

遠隔地からの参加である藤田邦彦君の乾杯により宴会が始まりました。最高の神戸牛ステーキを味合うかたわら各自の好みに合わせてビール・ワイン・日本酒等を片手に、学生時代の思い出を語りあいました。宴半ばで、恒例の近況報告に驚嘆・同情の声を浴びせながら和気あいあいと時を過ごし、あっという間に終了予定時間が来てしまいました。

柘岡の発声で、大阪医科大学学歌を斉唱後、学八期評議員である佐々木進次郎君の閉会挨拶を最後にそれぞれ帰宅の途に就きました。

宮本 一夫妻、藤田義昭、松田宗英、柘岡 進はポートピアホテルで二次会を催したのち、同ホテルで宿泊しました。

八起会の皆様、来年は金澤で開催予定です、こぞって参加してください。



前列左より 島田瑞夫、江村正信、栗栖孝臣、藤田邦彦、茂山虎雄、町塚 昭
後列左より 柘岡 進、藤田義昭、佐々木進次郎、松田宗英、宮本 一、宮本夫人

クラス会だより

平成 30 年度 有志珊瑚会 （昭和 35 年卒）のご報告

文責／大隈義彦（学 9 期世話人）

平成 30 年 11 月 3 日（土）午後 1 時 30 分から、梅田ジパング・ハービス ENT（なだ万）に於いて恒例の有志による珊瑚会を開催しました。

今年は、常時出席の谷村君が急に体の不調により欠席され、高岡君も事情により欠席されましたので、少し淋しくなりました。

その代わりではないですが、故 吉中英雄君の愛娘 五藤久美子さんが同級生の皆に、父の若い時の話をぜひ聞きたいとのことで、吉中君の遺影を持参して出席されました。なかなか明るいお嬢さんで而も活発な方で、何かと世話を下さり、大いに会を盛り上げて下さいました。お齡は聞きませんでした、子供さんが 2 人おられ、1 人は東京の医科大学在学中とのことで、そんな齡かとびっくりした次第です（写真参照）。それはそうでしょう。確か昔、骨折の疑いで小さな脚を診せてもらったのが 45 年くらい前でしたからね。

今年も沖縄県から入野君が神経科の子息康先

生に付き添われて出席してくれました。相変わらず元気で昔話に花を咲かせてくれました。

矢津君は現役でバリバリ診療をしておるとのことでした。

渡辺信治君は五藤久美子さんに、「あなたのお父上に色々助けられて私は卒業出来たんですぞ」と、謝辞を述べ、彼女を喜ばせておりました。

成山君は齢を感じさせない覇気を持ち、ダンディでした。話もよどみがなくいつもの様に頭脳明晰でした。

上田君は来週胃を切るので今生のなごりにしっかりと、皆と旧交を暖めるのやとドンドン飲んでおりましたが、よく聞くと胃切と言っても内視鏡下のスライス切除ですからホンマのホンマの早期で全く心配要らんやないかと誰かに、言われておりました。

大隈は相変わらずダメ世話人で、「場所は別紙の地図参照」と案内しておきながら地図を同封せずに、皆を困惑させておりました。

扱て、宴会の時間が短くて充分話をする暇がなかったのは、大いに反省すべき所でした。次回は何とか改善したいと思います。

皆々のこれからの最大の仕事は元気で長生きすることであります故、養生に努め、来年も会いましょうを合言葉に散会いたしました。



向かって左側奥から 入野 康君、入野、矢津、上田
右側奥から 渡辺（信）、成山、五藤君、大隈

クラス会だより

学52期同窓会報告 —平成の真ん中に卒業して、 平成最後に開催した同窓会—

文責／宮村昌利（学52期）

去る 2019 年 1 月 19 日に学 52 期卒業生同窓会が開催されました。

わが学年は同窓会委員を選任せずに卒業したのですが、学内の有志のご尽力（中平淳子先生、塗隆志先生、ありがとうございます。）により、平成が終わる前に同窓会を開催することとなりました。

入局制度の最後の学年として平成 15 年に卒業し、医師として駆け出しの時代を過ぎて、開業して軌道に乗せようと奮闘するもの、勤務医でも各部署の中堅の立場となり多忙を極めるものが、関西はもとより中四国地方、また九州の南端からも駆け付けて総勢 52 名にご参加いただきました。

幹事一同で卒業アルバムと持ち寄った学生時

代の写真をスライド化して上映するアイスブレークの用意や、学内の近況報告として新講義実習棟や新手術棟の写真などの用意をしていましたが、それも杞憂に終わり、15 年ぶりの再会でも顔を合わせると、学生時代と変わらぬ親しきで会話が始まりました。話題も現在の周辺状況に始まり、医療の情報交換、開業・事業継承のコンサルティング、子供の教育にいたるまで、学生時代の会話よりもはるかに幅広く深くなっており、一次会だけでは積もる話も収まりきらず、急遽設けた 2 次会の参加者も 30 名程度となり、深夜まで語り、飲み尽した楽しい時間となりました。

無事に開催できたこと、また来年もして欲しいと好評もいただけたこと、幹事一同感謝しております。

では、またお会いできること、今回参加いただけなかった先生においては次回にはお会いできることを楽しみにして、同窓会開催の報告とさせていただきます。



参加者（敬称略）

- 赤石由伽、飯田真大、井川佳世恵、井畑峰紀
- 井元 章、井元恵津子、上田万里子、内本晋也
- 襟原維華、扇谷大輔、岡田俊彦、奥野恵子
- 柿本一城、加藤勘明、神崎洋光、貴賓院永稔
- 木全浩子、丸山善弘、小嶋美希、小寺智子
- 関島龍治、武部 健、田中智人、田中良道
- 堤 千春、東道公人、戸谷隆一
- 中泉（マックレディ）敦子、池田文彦
- 中山聖子、西田 司、塗 隆志、久 毅、平田裕二
- 平山 尚、福井美保、藤澤 彩、藤田恭子
- 藤田修一、藤田洋一、瀧端 睦、堀田敏弘
- 前田裕子、宮崎信一郎、宮村昌利、宗光俊博
- 山名秀典、山本誠士、横山和武、入江陽子
- 時岡有紀子、奥田（福嶋）亜紀子

編集部より

原稿募集のお知らせ

仁泉会ニュースの原稿を募集しております。日々の診療で感じられた事、研究報告、趣味のお話やクラス会や支部会のご報告なんでも結構です。

ご投稿お待ちしております。

●50 巻 3 号（平成 31 年 5 月 1 日発行）

締切 平成 31 年 3 月末日

●50 巻 4 号（平成 31 年 7 月 1 日発行）

締切 平成 31 年 5 月末日

●送付先：仁泉会事務局 〒569-8686 高槻市大学町 2-7

E-mail：jimu@jinsenkai.net FAX：072-682-6636

仁泉ひろば

jinsen-park

OLDIESのCD製作

文責／岡田 勝彦（学 17 期）

前略、いつも仁泉会ニュースを拝見しています。

私は昭和 43 年卒で学生運動過激な学生時代を過ごしました。国試、入局、大学院ボイコット等走馬灯のように思い出されます。その学生時代から流れていた懐かしい曲を中心として、一部最近の曲を加えて、OLDIES FOREVER の CD を製作しました。

5 年前から Yesterday をピアノで弾きたいために、ピアノ、ボイストレーニングを受けることになりました。ピアノはビートルズ、リチャー

ド・クレイグマン、ショパン等です。ボーカルとボイストレーニング中に OLDIES の CD 製作を始め 20 曲を製作しました。

もし OLDIES にご興味のある先生に 2 枚の CD を進呈させていただきます。メールでご連絡下さい。

メールアドレス omck17123@ab.auone-net.jp

昭和 43 年卒 岡田勝彦

610-0121 京都府城陽市寺田今橋 13

医療法人 岡田 診療所



事業報告 学生生活虎の巻 その六

若手の先生と学生の交流の場が設けられました！

編集部がレポート！

2018年11月19日（月）学生生活虎の巻が開催されました。学生の実行委員会が企画をし、仁泉会と大学が共催するこのイベントも今回で6回目。今回は趣向を変え、学生の皆さんが参加しやすいように平日の夕方に開催致しました。

今回のプレゼンターは卒業生2名と在学生2名。それぞれの活動してきたことや現在の立場を踏まえて、「今、後輩たちに伝えたいこと」や「これからの学生生活に必要なこと」をそれぞれ話していただきました。

学友会での経験をみなさんに伝えたい

トップバッターとして登壇してくれたのは4回生の松本知明さん。現在学友会の会長を務めていて、そこで経験したことと、苦労したことを話してくれました。

「今年、新入生の人たちに学友会のイメージを聞いたら、チャラそうとか遊んでそうという答えがほとんどだったんです。結構ショックで傷ついたんですけど、皆さんにはそう誤解されないように学友会とはどんな組織かを知ってもらいたいと思います」と、学友会が主に行っている活動を教えてくださいました。

「大きく4つのイベントの運営。新入生の歓迎会、新入生の合宿、火祭り、学園祭です。企画を立てるのはもちろん、協賛して下さる企業などに広告のお願いに行ったり、細々した書類の準備、設営など、かなりたくさんさんの準備が必要になります」

そして、これらのイベントを成功させるのに一番大切なこととして「前日までの準備をどれだけしっかりできるかが大事です。ちゃんとできていれば当日はうまくいくし、怠れば当日にボロが出てしまいます。確かに大変な作業だし、愚痴が出てしまうこともあります。大変だった分、乗り切ってイベントが成功したときの充実感や達成感は大きくなると思うんです」

もうひとつの大切な要素として仲間の存在を挙げた松本さん。「一緒にがんばってくれた副会長と会計の2人がいなかったら、きっとへこたれていました。行事を一から作り上げるという作業は後にも先も今年しかないでしょう。貴重な体験をさせていただき、本当に感謝しています」と締めくくってく

ました。



松本知明さん (4回生)

これからの医療現場のこと

続いての登壇は循環器内科医として4年目になる奥野隆祐先生です。自身の勉強のため、およそ300冊のという医学書を読み込んだという奥野先生。本で得た知識をベースにこれからの医療現場で起こる

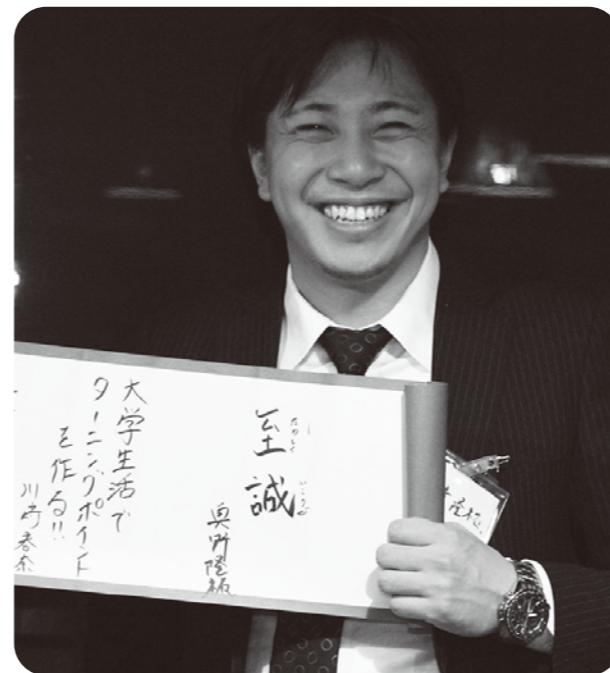
ことを3つ紹介してくれました。高齢患者が増えること、疾病の構造が変化すること、AIが発達してくることです。

「高齢者についてですが、最大の人数になるのは2040年と言われています。その年には約4000万人が高齢者となり、しばらくの間高止まりします。そうするとそうすると、今の環境のままでは乗り越えるのは難しい。そこで登場するのがAIです。すでにAIは発展しつつありますが、今後さらに進化していきます。当然医療現場でも使われることになるでしょう」

便利な側面もあれば、医者にとって脅威の存在にもなる。奥野先生はこう続けます。「2020年代後半には1台のコンピューターと一人の人間の脳の能力が同じになり、2045年には同じく1台のコンピューターが世界の全人口の能力を超えるというレポートがあります。また、2030年ごろには機械が医師の能力を超えるという声もある。非常に恐ろしいですね」

しかし奥野先生は「絶対人間の力は必要だ」と言います。「医者が行っている仕事ってそんなに単純ではないと思うんです。患者さんひとりひとりの生活状況や性格を見てQOLを高める。そういうコミュニケーションはコンピューターにはすることができない。僕は医師の最大の仕事はコミュニケーションだと思っています」

最後に学生へのメッセージを力強く話してくれました。「大事なのは、大阪医大の学是にもある至誠です。誠の心をもって尽くせば動かない人はいないという意味です。その誠実性は座学だけでは身につ



奥野隆祐先生 (学64期)

きません。ぜひ実学を大切にしてください。医療現場の環境は激変します。しかし医療の本質はコミュニケーションにあり、そこは変わることはありません。コミュニケーション能力は誠実性に依存します。ゆえにこれからの医師は誠実性を磨くための勉強をすべきなのです」

がんばれば開く道がある 諦めずに取り組んでほしい

しばらくの歓談後、3人目の登壇者の発表が行われました。6回生の藤原有沙さんです。積極的に社会的。しかし、優柔不断で決断力がなかったという藤原さん。そんな彼女が6年の学生生活の中で、どう変わっていったのかということをお話してくれました。

「最初の2年間は、大学入試で失敗したことを引きずって、ダラダラ過ごしていたと思います。そんな中、大きく環境が変化したのは、テニス部のキャプテンになったことでした。みんなと仲良く楽しく過ごすことは、それまでもできていたと思いますが、キャプテンとなると、ただそれだけではいけない。もしかしたら自分を変えることができるかもしれないと思い、やらせていただくことになりました。1年間自分なりに目標を持って努力することができたと思います」

部活を通して自信を身につけた藤原さんは次の目標に向かって新たな取り組みを始めたそうです。「4回生になって国際交流部に入り、加えて語学の勉強を始めました。何とか6回生になったら留学に行きたかったからです」。そして留学先の台湾では、また自分を成長させてくれる出来事がありました。「スケジュールなど決まったことは全くなくて、全部自分で決めて、先生方に質問するというのをしないといけませんでした。決断力がなかった私でしたが、この経験でまた何か乗り越えられたような気がしています」

最後は、自分の成長の過程を踏まえてのメッセージで締めくくってくれました。

「部活を辞めずに続けたことが、私を成長させてくれたんだと思います。楽しいことはばかりじゃなく、苦しいことを乗り越えたから、自分の短所を徐々に少なくしていくことができた。部活に限ったことではないですが、自分が立てた目標に向かって、諦めずに努力してほしいと思います。大変なことや失敗することも多いけど、周りからの評価を気にするのではなく、自分で評価してあげることも大事だと思

います。そして自分からチャンスを掴みとってください」



藤原有沙さん (6 回生)

まず消化器科、次に糖尿病、内分泌内科、麻酔科、救急、そして最後は眼科でした。眼科になることは元々選択肢のひとつだったので、楽しくできましたね」

2 年目に入り、再びいろいろな科を回った後、7 月に眼科に入り、そこで本格的に眼科を目指し始めたという児玉先生。「基本的に日曜は休めるので QOL が高いんですね、眼科は。それも決め手のひとつですが、やはり眼科医しか人の目は見られないという特殊性も僕の性に合っているのかなということが大きかった。確かに全身を診ることはできないし、命を救うような場面はないかもしれない。けど、内科や外科の先生が命を救った患者さんでも、目が不自由となると、今後の生活が過ごしづらくなります。やはり眼科医の力は大きいのかなと思います」

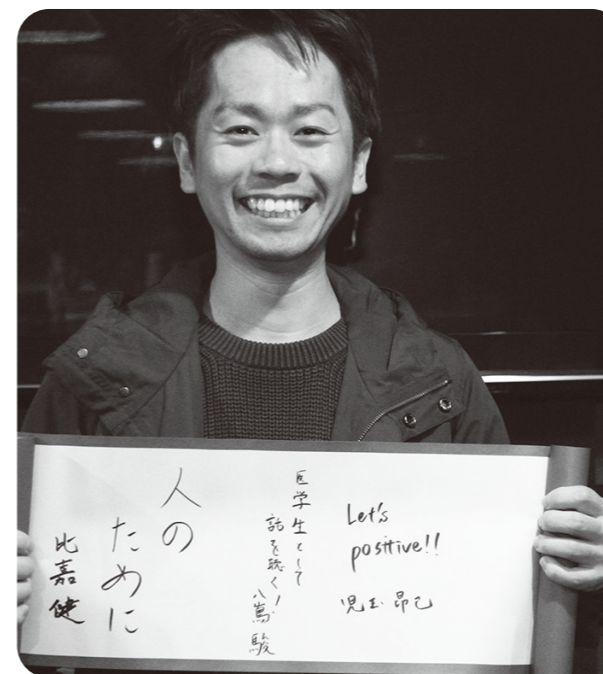
医者を目指す者としての心構えについて、自身の経験からこのように話してくれました。「好きこそ物の上手なれと言いますが、僕も楽しいと思える道に進めて良かったと思っています。なので、自分の好きなこと、得意なことを早めに見つけるようにしてください。同じように苦手なことやできないことも見つけることが大事です。それを乗り越えられれば自信につながります。そして得た自信は、必ず患者さんと接するときに生きてきます」

最後は進路の目標設定について「専門医制度の変更で、進路を決めるのが厳しくなっています。僕の年でも眼科に入局するのが 7 人いますけど、眼科のプログラムを選択できるのは 5 人と決められています。ですので、できるだけ早めに自分の進路を固めた方がいいと思います」と締めくくってくれました。

「早め早めに 進路の目標を

最後に登壇したのは大阪医大附属病院の研修医 2 年目の児玉昂己先生。自身の研修医生活の紹介を中心に話してくれました。

「まず研修医 1 年目のときは、2 ヶ月ごとにいろんな科をローテーションで回りました。僕の場合は



児玉昂己先生 (学 66 期)

編集部より

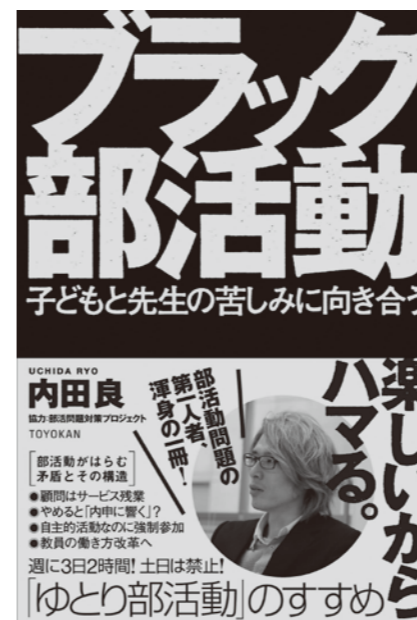
会費納入のお願い

年会費
平成 30 年度 10,000 円
平成 29 年度 10,000 円
平成 28 年度 10,000 円
納入のご協力をよろしくお願い致します。

事務局 会計係

東雲 出張版

※「東雲」は文芸部の部誌のタイトルです。



ブラック部活動 著者/内田良

「中高生は運動部に入るのが一般的」という認識は社会で広く共有されてきたものですが、近年では部活動の加熱が様々な社会的問題を引き起こしています。

学生は週 6 日の部活で疲弊し、顧問となる教員は十分な授業準備ができず、時には保護者や教員の家族までもが間接的に被害を受ける。このようなブラック部活動は教育現場でまかり通る「部活強制加入制度」や学生の自由を束縛する「内申書主義」によって成立しています。

この本の筆者である内田良さんは、現状を改善するためのアイデアとして「当たり前を疑う」ことを提唱し、様々な統計データや現場の人々の意見を挙げて、正しい部活のあり方を考察しています。

部活動問題のみならず、社会改革の多くは「当たり前を疑う」ことで実現されてきました。この本は単に部活動問題を知るための本ではなく、社会の現状を見つめ直す思考を育ててくれる、いわば脳の栄養になる本なのです。

医学部 2 回生 文芸部 黒川四郎

書籍紹介

「心臓手術には例外なくリスクがある。執刀する私たち医者は、振り返らない。私たちは次へと進む。いつだって、結果がよりよいものになると期待する。そして、決してそれを疑ってはならない」

私たちの心臓は一年間で三〇〇万回、八〇年生きたとすれば、二五億回の拍動をつづける。毎日全身には、六〇〇リットル以上の血液を送り出される。この途方もない偉業を、私たちはどうして機械にやらせたり、他人の心臓で代用できると考えたのだろうか？

ウエスタビーは、その生命の鼓動を刻む臓器の手術に挑みつづける。心臓が右側にある男の子、五度も同じ心臓疾患に冒された女性、人工心

カリスマ外科医の自伝的エッセイ

ステイーヴン・ウエスタビー
 『鼓動が止まるとき 1万2000回、心臓を救うことをあきらめなかった外科医』
 小田嶋由美子訳 勝間田敬弘監修

発行所 みすず書房



臓によって七年もの「追加された人生」を生きた医師。ひとつとして同じ心臓などなく、どの患者にも手術台の上で胸を切り開かれるまでの人生があった。ウエスタビーがあらゆる人生の終わりを意味した。心臓が動かなくなるより不幸なこととは、人生には訪れない。もしそれ

までの人生がどれほど苦しみに満ちていたとしても。そしてもしそれからの人生が、他人の心臓や機械の心臓とともに生きる、戦いの日々だったとしても。

▼著者紹介 世界的に有名な心臓外科医にして、植え込み型人工心臓手術のパイオニア。三五年のキャリアの間、外科医としていくつもの英国最高峰の病院で働き、一万二〇〇〇回以上の心臓手術を行った。二〇〇四年、The Ray C. Fish Award for Scientific Achievement 受賞。同年、BBCのドキュメンタリー番組 "Your Life in Their Hands" に取り上げられ、話題になった。『医療読み物・ノンフィクション』(四六判・336頁・三〇〇〇円)

★★★母校胸部外科学教室教授勝間田敬弘先生（特別会員）が監修された書籍「鼓動が止まるとき」（ステイーヴン・ウエスタビー著）の紹介記事が2018年12月15日付パブリッシャーズ・レビュー（左）2019年2月14日発行週刊文春（右）に掲載されましたのでご紹介いたします。★★★

新聞切抜

ご近所のお医者さん

481

茂松整形外科院長 茂松茂人さん 一茨木市



昨年発表された厚生労働省の2017年簡易生命表によると、男性の平均寿命は81・09歳、女性は87・26歳でした。元氣な高齢者が増え、「人生100年時代」は目前です。70歳、80歳などはまだひよっこ。

とはいえ、肉体的には衰えも出てくるでしょう。そんな皆さんを救うと期待されるのが、人工知能（AI）搭載のロボットやICT（情報通信技術）、再生医療。コンピューターがオーダー

人と人のつながり大切

な「新年の初夢」といったところでしょうか。

AIやICTなどの技術は現に医療分野への導入が進んでいます。医療機関同士や介護・福祉事業者との連携がスムーズになり、患者さんの健康管理にも大いに役立っています。早期発見や新たな治療の開発にもつながっており、日々診療に携わる医療者としては心強くも思います。

しかし、これが国や経済界が主導す

るビジネスに特化したものならどうでしょう。経済的観点からすれば、お金持ちが優先され、国民全員が夢の治療を受けられるとは限りません。現在でも「医療費を適正化する」という名目で、長寿社会を支える国民皆保険制度を脅かす動きもあります。国民が等しく受けられないような医療制度には断固反対しなければなりません。医療は消費ではなく投資です。健康だからこそ活力のある社会が生まれ、経済が発展するのではないのでしょうか。経済を優先させるよりも、まずは社会保障を充実させる施策が必要です。

さて、「初夢」の話に戻ります。ロボットが診察し、お医者さんが面と向かって治療もしない世界は、本当に幸せでしょうか？ 私は、医療とは人と人との寄り添い、つながりであり、一番大切なことは「心」だと思っています。（府医師会長）

今週の必読

『鼓動が止まるとき』

ステイーヴン・ウエスタビー 小田嶋由美子(訳) 勝間田敬弘(監修)

◎ 茨木 保

心臓外科医は医者の中で最も極限に挑んでいる人種であろう。本書の著者の言葉を受けると「道理をわきまえた普通の若者は、人の胸を切り裂き、心臓を止めた上で開いて修理するとかあるだけですくんでしまえ」ものだ。これはそんな因果な仕事を四十年近く続けた医師の自叙伝である。

究極の非日常を生きる心臓外科医という種族

著者のステイーヴン・ウエスタビー氏は一九四八年生まれのイギリス人。植え込み型人工心臓手術のパイオニアであり、生涯に一万二千回以上の手術を手掛けた名医だ。

本書には数々の興味深い症例が登場する。心臓が右にある右胸心（内臓逆位）の男の子、五度も開心術を要した心臓腫瘍の女性、人工心臓で七年の人生を追求された精神科医、胎児を子宮に抱えたまま人工心臓手術を受ける妊婦……いずれもドラマチックなエピソードばかり。その描写も現場を知る医師にしか表現できないリアリティーに満ち、小田嶋由美子氏の自然な邦訳に導かれ、読む者をグイグイと引き込んでいく。

私は産婦人科医の傍ら漫画家をしているの、時々医療漫画や医療ドラマのプロットの相談を受けるのだが、制作者からしばしば要求されるのがドラマを盛り上げるアクトバティックな手術である。手塚治虫氏の『ブラック・ジャック』は医療漫画のバイブルだが、本書の右胸心の手術を読みながら私がいまだに浮かべたのが、この漫画の内臓逆位の話だ。人体の構造が頭の中にしみ込んでいるプラ

ック・ジャックは左右逆転した臓器の患者の手術に戸惑う。そして術野に鏡を立てて、それを見ながら手術をするのである。

私は学生時代、内臓逆位の遺体の解剖を見たことがあるが、当時は人体の正常構造が自分の頭に入っていなかった。その特異性がわからなかった。しかし経験豊富な3Dイメージが構築が自分の頭に入っていた。二〇一六年に手術から退いた著者は、今後、詳細胞による心臓の再生医療と新しい人工心臓開発のプロジェクトに入るのだという。極限状態に挑み続けた彼はそれを超える飽き足らず、極限を超える闘いを始めたのだらう。心臓外科医とはつくづく因果な仕事である。

★★★2019年1月22日付の毎日新聞に茂松茂人先生（学27期）の記事が掲載されました。★★★

新聞切抜

専門医に聞く 高齢者のためのソナエセミナー

年齢に病気が負けない病

心不全、サルコペニア、フレイル、認知症などの老年内科の話

講師 熊野 宏二氏 (医療法人社団秀社会 秀社会クリニック院長)

1990年、大阪医科大学卒。同大学第2内科教室入局。99年、同大学第2内科助手。阪和住吉総合病院内科入職(内科医長、消化器内視鏡診断室長、大阪医科大学第2内科非常勤講師兼任)。2006年、医療法人社団秀社会 秀社会クリニック院長就任。14年より大阪市淀川区医師会理事。医学博士、日本内科学会総合内科専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器内視鏡学会指導医など。訪問診療、往診も行い、有料老人ホーム、グループホーム、デイケア、デイサービス等を併設し、地域医療の一翼を担う。

高齢者が介護を必要とせず、元気で自立できる社会が求められています。日本老年医学会は「フレイル」(虚弱・健常と要介護の間にある状態)を提唱し、これに医療などが介入することで健康状態を取り戻す取り組みを推奨しています。

また、患者さんが医療の中心であると考え、医師からの情報を基に、検査や治療を受けるかどうかを考え決断することも大事なことです。このセミナーでは、加齢や疾患によるフレイル認知症、心不全、サルコペニア(筋肉の減少による身体機能の低下)などについて、現役医師が年齢に負けないための病気対策を具体的に分かりやすく解説します。

日時 2019年1月25日(金) 13:00開演(15:00終演予定)

参加者募集

会場 サンケイカンファレンス大阪桜橋 (大阪市北区曾根崎新地1-4-12 桜橋プラザビル9階)

定員 100名 (事前申し込み制、参加証をお送りします) ※応募は1月16日(水)必着。

参加費 500円 ※お1人様(税込) 当日会場払い。

主催:産経新聞開発株式会社 後援:産経新聞社 協力:秀社会クリニック

最寄り駅: JR[大阪]駅より徒歩約7分、大阪メトロ御堂筋線「梅田」駅より徒歩約4分、大阪メトロ四つ橋線「西梅田」駅、C-60出口より徒歩約1分、JR東西線「北新地」駅11-5出口より徒歩約1分、京阪中之島線「渡辺橋」駅より徒歩約6分

応募方法

ハガキの場合 〒556-8666(住所不要)「老年内科のセミナー」係

FAXの場合 06-6633-2709

Eメールの場合 kouza@esankei.com

【お問い合わせ】TEL.06-6633-6834(土・日・祝除く、午前10時~午後6時)

カラダの相談室

熊野 宏二 院長

自分のための養生 健康診断の受診で

Q 退職後、国民健康保険になりました。今のところ何も悪くないと思っていますが、健康を保つためには、自治体が行っている健康診断(健診)も受けるべきでしょうか。

A 大阪市の国民健康保険では、30歳以上の被保険者を対象に、健康保持と疾病予防を目的に1日人間ドックを市の指定する医療機関でも実施しています。受診料は年齢により1万4000円と1万円になりますが、今年度は、昭和28、38、48、53年生まれの方は1日人間ドックを無料で受診できます。

また、大阪市の国民健康保険の特定健診では40歳から74歳までの被保険者は、生活習慣病の予防や早期改善を目的に無料で受診できます。しかし、1日人間ドックと特定健診の両方は受診できません。当クリニックも指定された医療機関ですが、なかなかに検査が足りない項目もありますので、各区の保険年金課に問い合わせてください。

健診を受けることは大切ですが、もっと大事なのが、その結果や血液検査の数値を見て、一喜一憂しないだけで、放置してははの役にも立ちません。かかりつけ医に健診結果を持って行き、問題があれば、今後の治療方針や、より詳しい検査が必要なのか、専門医に行けるのかを相談し、指示を受けるべきです。

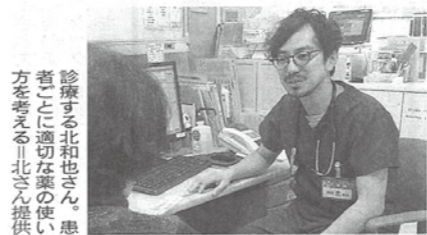
また、結果や数値が良くても病気になる可能性はゼロではありません。健診以外で、高齢の方に接種してほしが肺がんワクチンです。平成28年の厚生労働省の調べでも肺がんは死亡原因の3位。60代では5位ですが、70代では4位、80代では3位、90代になると2位と、年代が上がるにつれて高くなっていきます。普段、社会生活をしてる時に感染する肺炎(市中肺炎)のうち肺炎球菌が原因と思われるものは約4分の1から5分の1を占めています。肺炎球菌は中耳炎、副鼻腔炎、敗血症、髄膜炎など、様々な病気を引き起こします。大阪市の場合、65歳になると区役所から肺炎球菌ワクチン接種の通知が来るといいます。ぜひ、接種していただきたい。ワクチンを接種しているならば65歳以上は5倍の数にまで1回のみの接種が助成されます。効果は約5年間です。

高齢な人間ドックもあります。高血圧、糖尿病、脂質異常症、がんなどの検査項目が追加されています。病気が早期に見つかるケースがあり、根治も期待できます。これが自分のための養生です。何もなくても、基本的には40歳以上になれば1回は健診を受けてください。

★★★2018年11月12日付産経新聞夕刊(上)と2018年12月27日付産経新聞(下)に熊野宏二先生(学39期)の記事が掲載されました。★★★

新聞切抜

増えていく薬 副作用に注意



診療する北和也さん。患者ごとに適切な薬の使い方を考える。北さん提供

「薬の副作用を疑ってみる視点が大切。薬の減量や中止で症状が改善することもある」と北さんは話す。

奈良県に住む80代の認知症の女性は、ときおり気を失うようになった。ある日、手が震えていることに家族が気付いた。診察したやわらぎクリニック(奈良県三郷町)の北和也副院長(総合診療科)は、薬の副作用を疑った。認知症に加え、不整脈や高血圧の薬など10種類を使っていた。手の震えは不整脈の薬によって、気を失うのは高血圧の薬(降圧薬)の効きすぎで低血圧になったとみて、起された可能性があった。そこで家族と相談。2年かけて4種類に減らした。気を失うことはなくなり、手の震えはなくなったという。

複数の薬を使っている高齢者は多い。全国の薬局調査では75歳以上の4割で5種類以上の薬が出されていた。薬が6種類以上になると、副作用が増えるという報告もある。だが、薬の副作用として、ふらつきや転倒、物忘れ、うつ、食欲低下、便秘などがあっても、これらは高齢者によくみられる症状のため、見過ごされがちだ。ふらついて転びやすい人のなかには、睡眠薬や降圧薬、抗うつ薬などの副作用が疑われることがある。

痛み止めの薬で高血圧やむくみが起きているのに、降圧薬や利尿薬が出される。降圧薬が効きすぎてめまいや転倒を招いているのに、めまいの薬が出される。薬の副作用の気がかたらずに、その症状に対して薬で対応され続け、薬が増えていく「悪循環」。

こうしたケースはしばしばあるという。

6種以上でリスク増

老いよもに

★★★2019年2月6日付の朝日新聞に北和也先生(学55期)の記事が掲載されました。★★★

仁泉会ニュース

50

通巻 号記念

原稿・写真大募集!

会員の皆さまの投稿からなる仁泉会ニュースも、今年で通巻50年を迎えました。そこで、改めて会員の皆さまからの寄稿を募集いたします。時代を知ることができるようなお写真などもございましたら、ぜひお送りください。お待ちしております。

エッセイ

歴史を彩った女性達 (16)

西村 保 (学 4 期)

松井須磨子

本名は小林正子で長野県生まれである。

1902年に上京し、戸板裁縫女学校に入学した。卒業後鳥飼啓蔵と結婚したが程なく離婚し、のち東京俳優学校の英語教師前沢誠助と再婚した。1909年、文芸協会演劇所研究第一期生となり、坪内逍遙、島村抱月らの指導を受けた。翌年、前沢とも離婚して女優に専心した。1911年には帝国劇場で「ハムレット」のオフィリアで注目され、次いで「人形の家」のノラを演じ、新時代の女優としての地位を確立した。しかし、島村抱月との恋愛問題が表面化し、1913年に退団し、同年、抱月と共に芸術座を結成し、「復活」「サロメ」「アンナ・カレーニナ」などに主演し、特に「復活」の劇中歌「カチューシャの唄」は一世を風靡した。1918年に抱月が急逝したが、翌年1月5日「カルメン」上演中に芸術倶楽部の舞台裏で縊死 (いし) した。

正に恋多き女性であった。

水谷八重子

本名は松野八重子で東京生まれである。1916年 (大正 5 年) に義兄である水谷竹紫の世話で芸術座公演「アンナ・カレーニナ」のセルジー役で初舞台を踏んだ後、新劇女優として活躍し、1924年には竹紫と第二次芸術座を結成したが、1945年には解散した。1927年 (昭和 2 年) 頃から花柳章太郎と共に劇団新派の中心となった。一



方では果敢に現代劇にも挑戦した。1937年には14世守田勘弥と結婚したが1951年に離婚した。その後芸術院会員となり文化功労者にも選ばれた。

まんが 36

チバニアン

フルーツボン太 (学 31 期)



ご投稿のお願い

会員相互および母校とのコミュニケーションや情報交換の場として「仁泉会ニュース」を引き続き利用させていただきたいと思っています。会員の先生方より本誌に対する忌憚のないご意見をいただき、同窓会の活動をさらに充実させていきたいと考えています。

下記の要領にて、多くの会員皆様からの投稿をお願いします。

- 支部会、クラス会、趣味の集会などの案内や報告
- 「仁泉ひろば」のコーナー
- 研究論文の要約 (以前に他誌に投稿された内容でも結構です)
- 随想、紀行、写真、絵画、俳句、短歌、川柳などの趣味や特技
- 紹介したい店、場所、物など
- 本誌に取り上げて欲しい話題
字数には制限は設けません。葉書1枚、便箋1枚でも結構です。
- 広告に関して
会員自身が出される広告は現在100字程度までは無料です。内容は、人材募集、開業場所の紹介、医院承継、ブライダル、趣味の発表会の案内などです。詳細については事務局までお問い合わせ下さい。
(内容により有料の場合があります)

事務局編集係

本部だより

会員訃報

次の会員が亡くなりました。
慎んでご冥福をお祈り致します。

事務局編集係

高医 14 期 今野保一先生

平成 30 年 10 月 28 日老衰の為に逝去（98 歳）。
昭和 19 年卒。
酒田市にて内科をご開業になり、地域医療の為に尽くされました。
ご遺族 長女 金田真理子様

高医 14 期 森田健規知先生

平成 30 年 10 月 29 日老衰の為に逝去（96 歳）。
昭和 19 年卒。
昭和 23 年に奈良市にて森田医院（内科・小児科）をご開業になり、院長として 70 年間のながきに亘り地域医療に尽力されました。
ご遺族 長男 正純様

高医 16 期 塚本利政先生

平成 30 年 10 月 16 日老衰性敗血症の為に逝去（100 歳）。昭和 22 年卒。
昭和 32 年に高岡市にて小児科を開業されました。昭和 34 年から高岡市立博労小学校の学校医を約 35 年間お務めになられるなど地域医療に貢献されました。昭和 40 年に紫綬褒章、昭和 55 年に高岡市民功労者表彰、昭和 60 年に富山県教育功労表彰、昭和 62 年に文部大臣表彰と数々受章表彰をされておられます。
ご遺族 次男 誠次様

高医 17 期 成田俊三先生

平成 30 年 10 月 27 日肺炎による呼吸不全の為に逝去（93 歳）。昭和 23 年卒。
大阪市城東区にて成田外科医院を開業されました。また診療に加えて法務省の保護司を兼務され、地域の為に尽くされました。平成 25 年には瑞宝双光章を受章されておられます。
ご遺族 長男 晃一様

学部 2 期 岩神俊平先生

平成 30 年 3 月 30 日肺炎の為に逝去（89 歳）。
昭和 28 年卒。
卒業後、昭和 49 年まで内科医として勤務された後、同年 8 月にご開業になり、平成 13 年 11 月に閉院なさるまでの 27 年間地域医療の為に尽くされました。
ご遺族 妻 久美子様

学部 2 期 藤本正三先生

平成 30 年 12 月 22 日慢性心不全の為に逝去（92 歳）。昭和 28 年卒。
昭和 33 年より大阪通信病院（NTT 西日本大阪病院）でのご勤務の後、昭和 37 年に大阪市阿倍野区にて藤本医院（外科・内科・皮膚科・小児科）を開院されました。医師会活動においては、昭和 47 年 4 月より社団法人阿倍野区医師会理事、昭和 55 年 4 月より同会副会長、昭和 57 年 4 月より同会会長、平成 4 年より同会監事を歴任されました。また昭和 52 年より大阪府立天王寺高等学校内科校医、昭和 63 年より大阪市立晴明丘南小学校内科校医、平成 6 年より大阪府立高等学高医会の会長をお務めになられるなど地域医療に貢献されました。昭和 62 年大阪府教育委員会表彰、平成 5 年大阪府知事表彰、平成 7 年文部大臣表彰、平成 18 年社団法人大阪府医師会会長感謝状、平成 19 年近畿医師会連合研究協議会表彰、平成 21 年大阪市長表彰、平成 29 年瑞宝双光章、平成 31 年 1 月 18 日叙位叙勲従六位と数々の表彰・受章をされました。平成 6 年から仁泉会理事長として会務運営にもご尽力いただきました。
ご遺族 長男 正博様

学部 9 期 岡本章先生

平成 30 年 10 月 16 日老衰の為に逝去（83 歳）。
昭和 35 年卒。
京都市南区にて岡本医院（内科・外科・皮膚科・整形外科・泌尿器科）をご開業になり地域医療に貢献されました。
ご遺族 妻 智永子様

学部 18 期 小松一夫先生

平成 29 年 12 月 14 日直腸癌の為に逝去（75 歳）。
昭和 44 年卒。

卒業後、母校第 3 内科に入局されました。八尾市立病院内科、近畿大学東洋医学研究所にご勤務の後、昭和 53 年に西宮市にて西宮小松診療所を開設され地域医療に尽力されました。
ご遺族 妻 由紀子様

学部 20 期 垣谷隆一郎先生

平成 30 年 12 月 26 日病気の為に逝去（72 歳）。
昭和 46 年卒。
卒業後、第 2 外科に入局され武内敦郎教授の下で勤務されました。昭和 55 年に松原市にてご開業になり、地域医療に貢献されました。
ご遺族 保子様

学部 20 期 菊山逸夫先生

平成 30 年 11 月 17 日ご逝去（72 歳）。
昭和 46 年卒。
卒業後、母校産婦人科に入局されました。昭和 55 年 4 月より茨木市にて菊山産婦人科をご開設になり地域医療に貢献されました。
ご遺族 妻 恵子様

学部 21 期 武藤正先生

平成 30 年 6 月 15 日腎細胞がんの為に逝去（74 歳）。昭和 47 年卒。
昭和 51 年より武藤病院にてご勤務の後、昭和 60 年に武藤医院（外科・整形外科）を、平成 8 年には医療法人武藤医院を開設され、地域医療に尽くされました。
ご遺族 妻 三鶴様

学部 24 期 宮崎総一郎先生

平成 30 年 10 月 2 日遠位胆管癌の為に逝去（68 歳）。昭和 50 年卒。
母校でのご勤務を経て、昭和 52 年より九州大学温泉治療研究所附属病院にてお勤めになられ、昭和 58 年に九州大学にて医学博士学位を授与されました。昭和 59 年より別府中央病院副院長を、昭和 60 年より海光病院院長をお務めになられた後、昭和 62 年に松原医院（外科・内科・胃腸科・麻酔科）を開設され、地域医療に力を注いでおられました。
ご遺族 妻 裕子様

学部 24 期 安田勤先生

平成 31 年 1 月 13 日急性心筋梗塞の為に逝去（69 歳）。昭和 50 年卒。
広野高原病院（神戸市西区）では内科医としてご勤務になり、また医療法人博愛会緑風苑では施設長をお務めになられ、地域医療に携わっておられました。
ご遺族 妻 万里様

学部 31 期 保田晃宏先生

平成 30 年 10 月 25 日脳出血の為に逝去（62 歳）。
昭和 57 年卒。
清水病院にて副院長をお務めになられた後、羽曳野市にて医療法人清晃会ヤスダクリニックを開業され理事長として地域医療に尽力されておられました。
ご遺族 妻 順子様

特別会員 谷川允彦先生

平成 30 年 9 月 18 日肝臓癌多機能不全の為に逝去（75 歳）。
京都大学医学部をご卒業になられました。天理よろず病院、京都大学、福井医科大学でのご勤務を経て平成 9 年 4 月に大阪医科大学一般消化器外科学教室教授に就任されました。平成 23 年 3 月にご退任の後には谷川記念病院にて理事長をお務めになられました。
ご遺族 妻 洋子様



編集後記

暖冬にもかかわらず、インフルエンザが猛威をふるい、麻疹、風疹が流行するなど感染症対策に追われることになっています。感染症との戦いは、まだまだ続くのでしょうか。人類が完全に制圧できたのは天然痘だけですが、ポリオはあと一歩まで迫っているようです。

さて、今号にも支部便り、クラス会便りを掲載しております。ここ数年、おもに母校から離れた地区での会合や合同支部会を開催すべく、仁泉会では積極的に支援を行っております。しかし、支部は存在するが休眠状態というところ

がまだまだ多くあります。きっかけが見つからないのではとか、地区にどのような同窓がいるのか分からないのではという意見もあります。

仁泉会では合同を含めた支部会や、なかなか開催できないクラス会などにできるだけの協力をいたします。把握できる範囲内ですが、消息不明の同窓生検索や、地区内会員名簿の提供。開催案内発送（実費負担）のお手伝い等が可能です。お気軽に事務局までお問い合わせ、ご依頼をいただけたらと思います。

(治)

医療ビル テナント募集

- ◆ 場所 大阪市北区中津1丁目11-6
- ◆ 坪単価 15,000円(相談) ◆ 保証金(相談)
- ◆ 共益費 30,000円



クリニックビルのテナントを募集いたします

- ★ 整形外科・耳鼻科・泌尿器科・美容整形 皮膚科・小児科
- ★ 3F エリア【90坪】
- ◆ 内装美装（自由に改装可）
- 3F 直通エレベーター有
- 1F ガレージ有
- 1F 内科盛業中

- ★ 地下鉄中津駅前 好立地条件一等地
- ★ 地下鉄中津駅すぐ人口密

開業をお考えの先生方、お気軽にお問い合わせ下さい。

詳しくはお電話にて。

- お問い合わせ先
仁泉会事務局 ☎072-682-6166
小山 ☎090-1480-5866

開業支援ドットコム

開業をお考えの先生方是非ご相談ください！

- ★ 開業場所の選定・調査 内装・空調等のご相談も承ります。
- ★ 開業時の税理士等のご紹介（弁護士・社労士・司法書士 etc）
- 開業融資のご相談も承ります。各行政への対応可能な有資格者もご紹介
- ★ 開業後の経営・運営のご相談
- ★ 医療機器・材料等のメーカーとの交渉
- 医療優先の煩わしい交渉事を一手に引き受けます。

- ◆ 開業時・開業後の様々なご相談事に親切・丁寧にご対応致します。
- ◆ 開業をお考えなら下記まで一度ご相談下さい。

お問い合わせ先
開業支援ドットコム株式会社 担当：宮崎 **090-2705-9997**

医療ビル テナント募集

- ◆ 場所:大阪市浪速区難波中2丁目3-3
- ◆ 坪単価 12,000円 ◆ 保証金 家賃の10ヶ月分(要相談)
- * 家賃は共益費込となっております。



クリニックビルのテナントを募集いたします

- ★ 心療内科・泌尿器科・眼科・耳鼻科等に最適。
- ★ 3F エリア【約40坪】になります。
- ◆ 内装美装（そのままお使い頂けます。）
- 1F・2F 消化器内科・肛門外科・内科・外科
- 4F 皮膚科・美容外科
- 5F レディースクリニック
- * 各階盛業中

★ 大阪難波駅徒歩すぐという好立地条件 開業をお考えの先生方、お気軽にお問い合わせ下さい。詳しくはお電話にて。

お問い合わせ先
仁泉会事務局
☎072-682-6166